

惡黨被抛地了、則奉入近衛殿云云、二十四日、寶劔事、同二十五日早朝、清水寺僧心月坊承桂入堂被成云云、

〔續神皇正統記後花園〕嘉吉三年九月廿三日、今夜凶族等内裏へ亂入て、一手は清涼殿にのぼり、一手は局町より攻入て放火せしむ、長刀を持たる者、玉體を危奉らむとせしが、目もくらみけるやらん、をどりのきてころびたりしひまのがれ出給ふとかや、密々近衛前殿下の第に行幸、劔璽は凶徒奪とり奉る内侍所。御辛櫃は、東門役人佐々木黒田とり出し奉る、これより凶徒は山門に取上て、子細を牒送す、南方の宮を取立申儀也云云、此宮ハ萬壽寺僧東洞院一位入道くみし侍りしぞあさましき、其子右大辨相公は、曾存知せざるよしを陳じ申けれども、つひにうしなはれぬ、山上には衆徒使節等各馳向あひだ、宮以下或は討れ或は自害すとぞ、ふしぎなりし事なり、寶劔はやがて清水寺の傍に捨置しを、心月坊といふ寺僧ひろひ取りて進けり、恩賞侍るにや、さて去廿三日夜、大神宮櫛御馬、御厩を出て懸まはり、汗を流し鞍をしくわとありて、又御厩に歸入給ふ由、次第奏狀到來、凶徒參入の夜の事也、神宮御まはりのほども、いよくあらたにこそ侍れ、

〔東寺修行日記〕嘉吉三年九月廿三日、子刻大内焼亡、東西棟門計殘、主聖様後花園ハ近衛殿出御成、後日風聞ハ、南方高秀即沙汰之三種神器悉以御成三條殿奉公仁奉取出、

〔東寺長者補任〕嘉吉三年九月廿三日、子刻大内焼失、其夜近衛殿御幸、寶劔内侍所。三條殿取出、被申進上之神璽、此時ヨリ不見云云、三百人計亂入、付火之間、其後糺明之時、五十三人之頸切之、殘者共山中堂籠之間、山門又押寄、大將南方高秀也、頸取之、

〔天地根元歴代圖〕嘉吉三年癸亥九月廿三日、日野殿謀反、禁裏へ夜討放火、南帝一族取立テ、金藏主ヲ既ニ成、太上皇帝之位、引率凶徒、楯籠叡山中堂、同廿五日、山徒率官軍攻中堂、金藏主、日野殿討死矣、主上後花園移近衛殿寶劔ハ、清水寺堂後門に書銘捨之、即禁裏へ召レテ被崇、